

こたえていく。かなえていく。



1試合13本。

ホームランの多い  
球場でした。

熱狂と感動の地、

そのDNAは、今に生きる。

憧れのプロ野球が来る。

かつて、この地にあった兼六園野球場は  
地域の夢と希望に溢れていた。

1試合13本墨打、たった79球の完全試合など  
観衆は、球史に残る大記録に熱狂した。

この「本多の森ホール」もまた、人々が集い沸き上がる  
そんなDNAを色濃く継承し

今なお夢と感動を届け続けています。

本年も、音と光が創る迫力のライブ空間、  
その最新プログラムにご期待ください。

北陸電力会館

本多の森ホール



石川県営兼六園野球場(1973年撮影)

野球場の名残を残すホール(2007年撮影)

出典:国土地理院ホームページ・空中写真より